

# 横浜市立大口台小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針より

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員が学校経営に主体的に参加し、活力と魅力あふれる学校づくりを推進します。</li> <li>・家庭・地域・関係機関との連携を図り、開かれた学校づくり・安全安心の学校づくりを進めます。</li> <li>・望ましい人間関係のもと「分かる授業」「楽しい授業」を目指して、基礎・基本の充実と授業の工夫を進めます。</li> <li>・計画的な健康教育の実践を図ります。</li> </ul>	

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

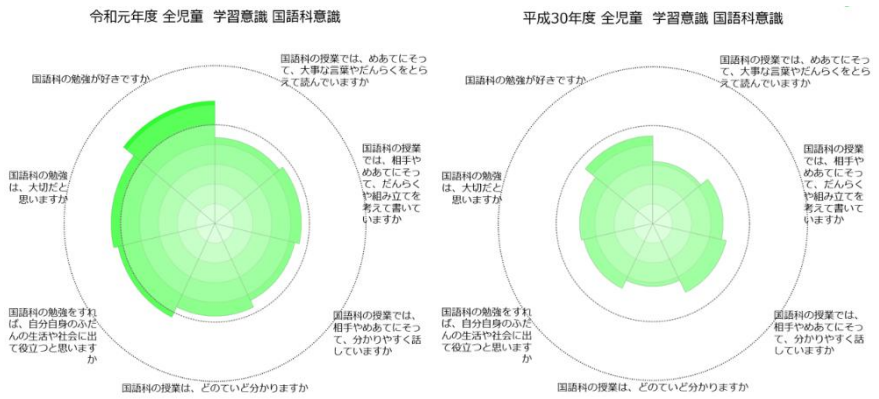
重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上を図る。</li> <li>・楽しい分かる授業を展開する。</li> <li>・子ども一人ひとりに応じた指導を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①研究会へ参加したり校内研修で指導法を学び合ったりしながら授業研究の推進を図る。</li> <li>②60分授業を活用した漢字・計算などのスキルタイムの充実を図る。</li> <li>③学習習慣の定着を図るために家庭との連携を行う。</li> </ul>
担当	教務部	

## 2 令和元年度の横浜市学力学習状況等からの実態把握

### (1) 学習意識の変容と要因の分析

国語科における学習意識の結果についてみると、一昨年度と比較して全体的に意識が高まっていることが分かる。「読むこと」「書くこと」「話すこと」に関する意識が、全体的に高まったことで、学習内容の理解が深まり、「国語の勉強が大切だと思う」「国語の勉強が好き」に繋がったのではないかと考えられる。

今後は、大事な言葉や段落を捉えて読んだり、相手に合わせて分かりやすく話したりすることに重きを置いて指導していきたい。

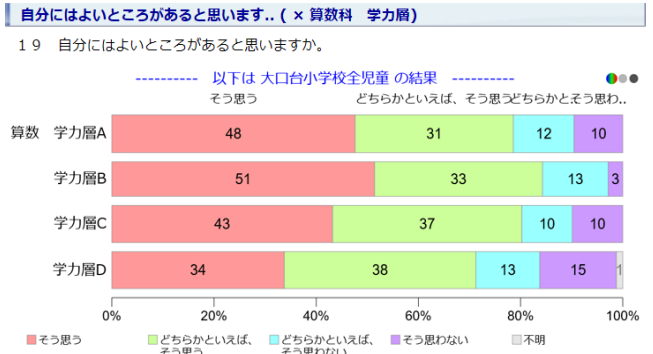


### (2) 自己肯定感と学力層とのクロス集計による分析

「自分にはよいところがあると思うか。」について、算数科の学力層別に見たときに、学力層 A、B の児童ほど、よいところがあると感じている割合が大きくなっている。

コロナ禍で活動に制限はあるものの、児童が「できた。」「分かった。」と感じられるよう、授業展開やワークシートを工夫し、一人ひとりの学習状況を丁寧に見取りながら、個に応じた指導を充実させていきたい。

また、家庭との連携を大切にし、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図っていくようにしたい。



### 3 令和3年度 具体的方策

#### (1) 教員一人ひとりの授業力向上への取組

##### ア 課題解決型学習の具現化

###### ○ノート指導、話し合い活動の充実

自分の思考したことを、根拠を明らかにして書くノート指導、それを基にした話し合い活動の位置づけ。

###### ○言語活動の充実

低学年を中心にした、「読みのスキル(MIM)」の研修を行い実践する。

「言葉(音声)」「文章・文字」でのコミュニケーションの力の向上と育成に努める。

###### ○基礎的・基本的な知識・技能の習得

60分授業を活用したスキルタイム。

例)15分スキルタイム(前時までの既習事項の確認)+45分授業

45分授業+15分スキルタイム(本時の内容の習熟) など

###### ○研究・研修の充実

初任者やメンターを中心とした「授業研究」を実施。

道徳授業力向上のための研修ならびに研究授業を実施。

##### イ 個に応じた指導

###### ○個別指導の充実

個の習熟に応じた適切な支援の方法について重点研究の算数を通して研究を行う。

スマイル教室の活用。

###### ○特別支援教育の充実

東部療育センターのコンサルテーションをもとに、学級の児童に応じた環境や対応の仕方を工夫する。

#### (2) 学校組織としての取組

##### ア 課題解決型学習の具現化

###### ○学習の基盤となる躰、学習規律の形成

挨拶、返事等、基本的な生活習慣の徹底。

話をしている人の顔を見て聴くことの徹底。

###### ○研究・研修時間の確保

教員の研究・研修時間の確保を目指し、課題解決型の学習の具現化を図る。

##### イ 学校と家庭・地域の連携

###### ○家庭学習の習慣化

家庭と連携し、各学年や各個人の必要に応じた家庭学習を呼びかける。

###### ○学校評価の充実

授業参観、行事等を通して家庭・地域と共通理解をもって学校運営を行う。

##### ウ 学力向上アクションプランの検証と授業評価・学校評価

○全国学力・学習状況調査 ○横浜市学力・学習状況調査 ○学校運営協議会

(3) 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す具体化した資質・能力	具体的取組み	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自立的に考える力</li> <li>◆ 他者との関わりを通して、自分のことを知る力</li> <li>◆ 身近な事象に好奇心をもち、積極的に関わろうとする態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活の中で言葉に注目する場面を意図的に作り出し、自分の考えや気持ちを伝える場面を取り入れた授業を行う。</li> <li>○ 特殊音節の授業を充実し、「読みのスキル(MIM)」の実践により、語彙力を高め、学力の基礎づくりをする。</li> <li>○ ペアの6年生や幼稚園・保育園との交流を通して、人とつながる場면을計画的に位置づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見通しをもって取り組めるよう導入を工夫したり、自力で取り組めるよう個の実態に応じた支援を講じたりする。</li> <li>○ ロールプレイやSSTを行い、相手の気持ちを考えられるようにしていく。</li> <li>○ 動画のやりとりを通して園との交流を図ったり、1年生を迎える準備をしたりすることでお兄さんお姉さんとしての意識を高め、2年生に繋げていく。</li> </ul>
2年		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の思っていることを自分の言葉で、表現できるようにし、みんなの前で発表する。</li> <li>○ 図工の学習を、単元によって担任を替え、授業の質的向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナの状況にもよって、グループワークやロールプレイを通して、相手の気持ちを考えて行動できるようにする。</li> <li>○ 授業の導入や活動を楽しく思考できるものにし、自力解決を支援する。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 他者を認め、ほめ合う力</li> <li>◆ 相手意識をもち、聞いている人に分かりやすく伝える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導形態を工夫するなどして、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の定着を図る。</li> <li>○ 児童の興味関心を大切にしながら学習を進め、意欲をもって取り組む姿勢を身に付けられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験的学習を増やし、他者との関わりをもつことで、認め合える関係づくりを行う。</li> <li>○ 道徳の学習を中心として、日頃の行動を振り返り、自分の生活に生かせるように、教室掲示を充実させる。</li> </ul>
4年		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達のよいところを見付け、意識して接していくことで、良好な人間関係を築けるようにする。</li> <li>○ 自分の考えを伝えるために、語彙を増やしたり、伝え方を身に付けたりできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ よい行動の具体を挙げ、児童の行動の価値付けをした。また、それを他の児童に伝えることで、よいものを認められるようにする。</li> <li>○ ソーシャルスキルトレーニングの考え方を授業中に取り入れ、相手に伝えやすい方法を理解できるようにする。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 物事を観察分析し、自ら課題を設定する力</li> <li>◆ 多様なものの見方を受け入れ、協働的に学習や活動を進めていく力</li> <li>◆ 自分の生き方を決定する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力の定着を図る。</li> <li>○ 文章を書いたり、解いた問題の説明をしたりといった、表現活動を大切にする。</li> <li>○ 児童間の関わりや、自らの経験を加えたり、拡張したりしながら話し合う活動を導入していくことで、学びに向かう前向きな態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章を書いたり、解いた問題の説明をしたりといった、言語活動の場を増やす。</li> <li>○ 既習項目をもう一度復習する。</li> <li>○ 話し合い活動を取り入れることにより、児童間の学び合いを深め、自己肯定感が高められるようにする。</li> </ul>
6年		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関わり合う場面を意図的に設定し、人と関わる楽しさや伝えるおもしろさを感じ、目的に応じて伝え方を工夫していく。</li> <li>○ 「計画・テスト・分析・練習」の自己学習の仕方を指導し、基礎・基本となる学習・学力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝え合う、関わり合う場面を意図的に設定する。タブレット端末を活用し、調査する活動、調べたことをまとめ発表する活動を充実させる。場や目的、相手に応じて工夫して伝えられるようにしていく。</li> <li>○ 自分や友達、地域のよさ・素晴らしさを感じられるような場や活動を設定し、自分や友達、地域に愛着を感じられるようにしていく。</li> </ul>
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 思いや考えを表現する力</li> <li>◆ 身近な事象に積極的に関わる態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材や指導方法を工夫することで、学習する必要感をもたせ、思いを伝えたいという意欲を高める。</li> <li>○ 身近な人や物の名前、動作や状態、感情を表す言葉について、日常生活での活用を通して身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力の定着を図る。</li> <li>○ スピーチや日記を取り入れ、自分の思いを人に伝える場面を設ける。</li> <li>○ 植物を育てることを通して、生長の変化に気付いたり、収穫の喜びを味わったりしながら、積極的に関わる態度を身に付ける。</li> </ul>

